



iPhone 6s Plusの開口方法

必要条件。iPhone 6s Plusを開口するにはこの手順をご利用ください。

作成者: Dante Mazzanti



はじめに

必要条件。iPhone 6s Plusを開口するにはこの手順をご利用ください。

🔧 ツール:

P2 ペンタローブドライバー (1)

ハンドル付き吸盤 (1)

スパッジャー (1)

iFixit開口ツール (1)

手順 1 — ペンタローブネジ



⚠️ iPhoneを解体する前にバッテリーの残量を25%以下まで放電してください。充電されたリチウムイオンバッテリーにダメージを与えると引火や爆発の恐れがあります。

- 解体を始める前に、iPhoneの電源を切ってください。
- Lightningポートの両端に留められた3.4 mmペンタローブネジを2本外します。

手順 2 — 開口方法



- リバースクランプを持っていない場合は、吸盤ハンドルを使って次の3つの作業を参照してください。
- 温めた*iOpener*やドライヤーなどで、iPhoneの下辺に1分程度、軽い熱を当てます。
- ① 熱によってディスプレイに装着されている接着剤が柔らかくなり、開口しやすくなります。

手順 3



- ① 6s Plus ディスプレイの開口作業は、ディスプレイ周辺に留められた薄い接着タブを剥がすことから始まります。交換用の接着タブを使用する場合は、作業前に準備してください。接着剤タブをそのまま使用しても、機能上は問題ありません。
- ディスプレイアセンブリ下側左端に吸盤カップを取り付けます。
- ① ディスプレイ全体に亀裂が広がっている場合は、[透明な梱包テープを表面に貼る](#)と吸盤カップがうまく装着します。もしくは強力なガムテープを吸盤カップの代わりに使用することもできます。壊れたスクリーン上に接着ボンドで吸盤カップを固定することもできます。

手順 4



- フロントパネルとリアケースの間にわずかな隙間を作るため、吸盤カップを一定の強さでゆっくりと引き上げます。

⚠ 力強く引っ張るとディスプレイセンプリにダメージを与えることがあります。リアケースとディスプレイセンプリの間に小さな隙間を作る程度の力加減にします。

手順 5



- 一番最初に開口する安全な場所はヘッドホンジャック上部のフロントパネル下にできる隙間です。
- 吸盤カップを持ち上げながら、ヘッドフォンジャック上部の隙間にスパッツァーの平面側先端を差し込みます。

手順 6



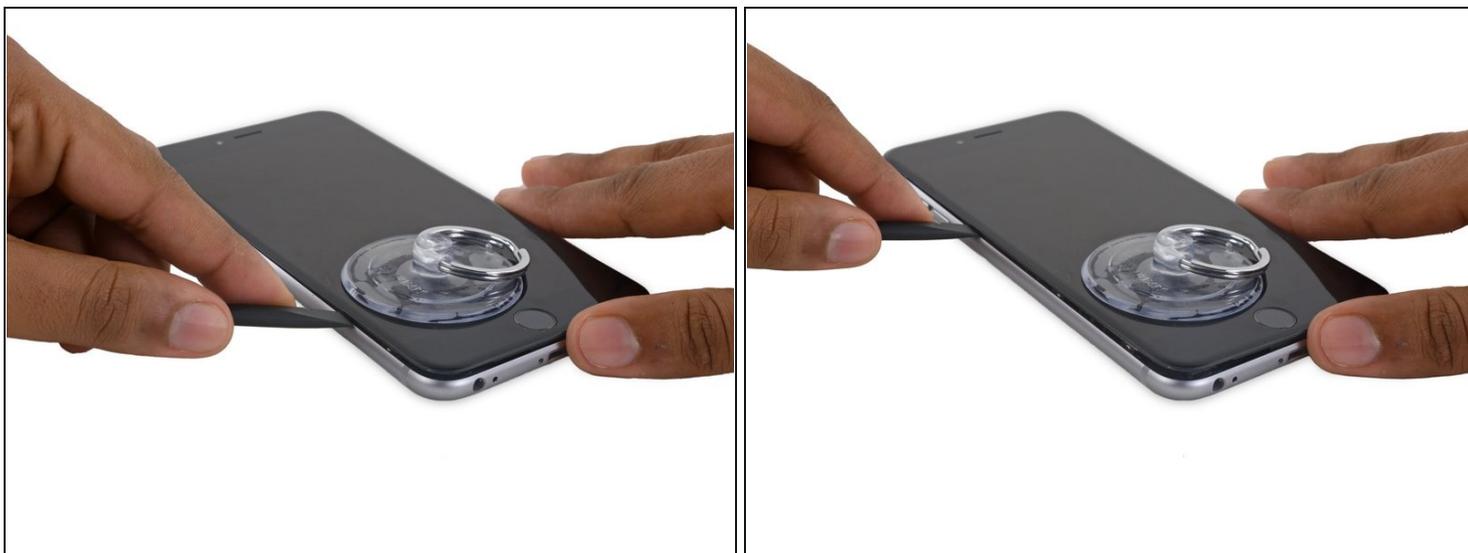
- フロントパネルとリアケースの隙間を広げるようにスパッジャーをひねりながらスライドします。

手順 7



- 吸盤カップをしっかりと引き上げながら、ディスプレイの左側角までスパッジャーの先端をスライドします。

手順 8



- スパッツァーの先端をフロントパネルとリアケースの間に入れ、押し上げながらデバイス本体左側までスライドして開口します。

手順 9



- スパッツァーの平面側先端をディスプレイ下部の右側角に差し込みます。
- スパッツァーを右側に沿ってスライドします。

手順 10



- プラスチックの開口ツールを使ってリアケースを下向きに押さえながら固定し、デバイスを吸盤カップで引き上げます。

⚠ ディスプレイを完全に外さないでください。iPhone上部端に付けられたディスプレイ用のデータケーブルにダメージを与えてしまいます。

手順 11



- 吸盤カップの小さな持ち手(ノブ)を引っ張り、ディスプレイから外します。

手順 12



- デバイス本体上部を蝶番のようにして、リアケースからディスプレイアセンブリのホームボタン端を持ち上げ、iPhoneを開きます。
 - ディスプレイを直角に開き、作業中邪魔にならないよう、後ろ側に衝立を置き開いたまま固定します。
⚠ 90度以上ディスプレイを開かないでください。ディスプレイ、デジタイザー、切断しやすい正面カメラケーブルが本体上部と繋がった状態です。
 - 作業中、ディスプレイがしっかりと固定されるように輪ゴムなどで留めてください。これはディスプレイケーブルに予期せぬ圧力が加わらないように保護するためです。
- ① 急ぎの場合は、未開封の飲料用缶を使ってディスプレイに立てかけることもできます。

デバイスを再組み立てするには、これらのインストラクションを逆の順番に従って作業を進めてください。